

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【公開番号】特開 2001-125813 (P2001-125813A)  
 【公開日】平成 13 年 5 月 11 日 (2001.5.11)  
 【出願番号】特願 平 11-310123  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 12/00

G 0 6 F 12/08

G 0 6 F 12/12

【F I】

G 0 6 F 12/00 5 1 4 K

G 0 6 F 12/00 5 2 0 E

G 0 6 F 12/08 W

G 0 6 F 12/08 3 2 0

G 0 6 F 12/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 12 日 (2003.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メディア交換型記憶装置を有した情報処理装置であって、  
 メモリ中に、メディアを単位とした複数の階層構造を形成する形成手段と、  
 前記複数の階層構造の内の一つをデータ読取対象のメディアに対応する階層構造として選択する選択手段と、  
 前記選択手段で選択された階層構造を用いて、データ読取対象のメディアのデータキャッシュを行うキャッシュ手段と  
 を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記階層構造は、メディアを特定する情報を含む属性情報を有し、  
 前記選択手段は、前記データ読取対象のメディアを特定する属性情報を有する階層構造を選択する  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記選択手段は、前記データ読取対象のメディアを特定する属性情報を有する階層構造が存在しない場合、前記複数の階層構造のうちの一つを選択し、選択した階層構造に該データ読取対象のメディアを特定する属性情報を持たせる  
 ことを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記属性情報は、当該階層が利用された時を示す情報を含み、  
 前記選択手段は、前記データ読取対象のメディアを特定する属性情報を有する階層構造が存在しない場合、前記複数の階層構造のうちの、前記属性情報に基づいて利用された時が最も古い階層構造を選択する  
 ことを特徴とする請求項 3 に記載の情報処理装置。

**【請求項 5】**

前記キャッシュ手段は、データ読取対象のメディアに一つのフォルダを割り当て、当該フォルダ内にキャッシュデータをファイルとして保存することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

**【請求項 6】**

前記読取対象メディア内の指定されたフォルダ内の画像ファイルをサムネイル表示する表示手段を更に備え、  
前記キャッシュ手段は、前記表示手段で表示した全てのサムネイル画像とこれに対応する画像ファイルのファイル名を関連づけた情報を一つのファイルとして前記選択手段で選択された階層構造中に格納することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

**【請求項 7】**

メディア交換型記憶装置を制御するための情報処理方法であって、  
メモリ中に、メディアを単位とした複数の階層構造を形成する形成工程と、  
前記複数の階層構造の内の一つをデータ読取対象のメディアに対応する階層構造として選択する選択工程と、  
前記選択工程で選択された階層構造を用いて、データ読取対象のメディアのデータキャッシュを行うキャッシュ工程と  
を備えることを特徴とする情報処理方法。

**【請求項 8】**

前記階層構造は、メディアを特定する情報を含む属性情報を有し、  
前記選択工程は、前記データ読取対象のメディアを特定する属性情報を有する階層構造を選択することを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理方法。

**【請求項 9】**

前記選択工程は、前記データ読取対象のメディアを特定する属性情報を有する階層構造が存在しない場合、前記複数の階層構造のうちの一つを選択し、選択した階層構造に該データ読取対象のメディアを特定する属性情報を持たせることを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理方法。

**【請求項 10】**

前記属性情報は、当該階層が利用された時を示す情報を含み、  
前記選択工程は、前記データ読取対象のメディアを特定する属性情報を有する階層構造が存在しない場合、前記複数の階層構造のうちの、前記属性情報に基づいて利用された時が最も古い階層構造を選択することを特徴とする請求項 9 に記載の情報処理方法。

**【請求項 11】**

前記キャッシュ工程は、データ読取対象のメディアに一つのフォルダを割り当て、当該フォルダ内にキャッシュデータをファイルとして保存することを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理方法。

**【請求項 12】**

前記読取対象メディア内の指定されたフォルダ内の画像ファイルをサムネイル表示する表示工程を更に備え、  
前記キャッシュ工程は、前記表示工程で表示した全てのサムネイル画像とこれに対応する画像ファイルのファイル名を関連づけた情報を一つのファイルとして前記選択工程で選択された階層構造中に格納することを特徴とする請求項 7 に記載の情報処理方法。

**【請求項 13】**

コンピュータに、請求項 7 乃至 12 のいずれかに記載の情報処理方法を実行させるための制御プログラムを格納する記憶媒体。